

やさしい風

編集：ボランティアコーディネーター 川井 恵子 協力：キートスボランティアさん達

新年明けましておめでとうございます

令和5年、西暦2023年を迎えました。

昨年は北京オリンピックに始まり、4年に一度のサッカーの祭典ワールドカップで年を終えたスポーツ感のある年でした。

一方で2月に始まったロシアのウクライナへの軍事侵攻はこの時代にあっても「戦争」が起きるといふ驚愕の出来事でした。国連の安全保障理事会の常任理事国自らが始めたことが、衝撃に輪をかけました。

大規模な停電で寒さにあえぐウクライナの人々に心が痛みます。一刻も早い停戦と平和を祈るばかりです。

さて、迎えた新年の干支は癸卯(みずのとう)です。少し調べたところ、これは、十千の10番目にあたる癸と、十二支の4番目にあたる卯の組み合わせで、十千十二支では40番目にあたります。十千の最後にあたる癸は、生命の終わりを意味するとともに、次の新たな生命が成長し始めている状態を意味するそうで、いわば「転換」を指しているように思えます。

「卯」は穏やかなうさぎの様子から安全、温和という意味と、うさぎのように跳ね上がるという意味があるそうです。卯年は何かを開始するのに縁起がよく、希望があふれ、景気回復、好転するよい年になると言われているようです。

新しい「癸卯」の年、「癸」と「卯」の組み合わせから、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になると考えられます。

新型コロナウイルス感染症も4年目に入りました。各所での感染はぐずぐずと続いています。重症化することが少ないのがせめてもの救いです。

コロナを横目に、ウサギが跳ね上がるように、希望に満ちた平和で活気の溢れる年になるように期待してご挨拶いたします。

令和5（2023）年 元旦
至誠ホーム長 旭 博之

新年お祝い用 生け花

→
ユニット花



ボランティア
田中先生



→
テーブル花





新年作品展



→池田ボランティアさんが
お正月用に、持って来て
下さいました。



新年 着付け

今年もコロナ禍の為、職員だけの着物姿となりましたが、新年らしい華やかな装いになりました。ご入居者の方々からも綺麗ね〜と大変喜ばれました。

着付けて下さったのは、ボランティアの加賀さんと青柳さんです。着物や帯、小物等貸して下さいました。暮れの打合わせから元日の着付けほか、色々とお世話になり有難うございました。



左から 青柳ボランティアさん
加賀ボランティアさん
平田 SMG・3F 岸野職員・2F レスピタ職員



新年の祝膳を囲んで

